

2. 安全の実現に向けた取り組み

(1) 通学路の安全確保を図るため、
通学区域を見直す地区

小金井上町地区（J R 宇都宮線東側）については、J R 宇都宮線により国分寺小学校の通学区域が分断されている現状を踏まえ、児童の安全を確保すると共に通学の利便性を図るため、国分寺小学校から緑小学校へ通学区域を変更します。

ただし、上町自治会や育成会が分断される等、地域に及ぼす影響も多大であるため、経過措置として保護者の申し出により国分寺小学校を選択できるものとします。

(2) 重なっている通学区域を見直す地区

石橋上町地区の通学区域が重なっている地域については、自治会の班が分断されるなど、地域への影響が多々であるため、当分の間は現状のままとし、地区の学齢人口の推移や石橋小学校及び古山小学校への通学状況を見極めながら、地域や保護者との協議を進めていきます。

3. 施設環境の改善に向けた取り組み

国分寺小学校と国分寺中学校については、校庭が狭隘きょうあひであり建築年数もそれぞれ47年、34年とかなりの年数が経過しています。

今後は、「学校適正配置答申」で示された留意点を踏まえ、長期的な観点から国分寺小学校と国分寺中学校を中心とした施設環境づくりの検討を行っていきます。

【参考】

「学校適正配置答申」の15ページで示された留意点

- ① 国分寺小学校は、国分寺中学校と校地が隣接する。しかし、両校とも校地の形状が悪くその上全体的に狭隘である。故に、国分寺小と国分寺西小との統合では広い校地を、近接地を含めた適当な場所に確保し、統合校として新設することが望ましい。
- ② ①の場合、国分寺小跡地は国分寺中の校地とし、中学生の校舎外活動が十分可能な校庭を確保する。

■ 計画書をホームページに掲載

「下野市学校適正配置基本計画」は市ホームページでご覧いただけます。

【参考】 小学校の学級数の現状と推移

【小学校の学級数による学校規模の分類】

年度	学校規模	過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模
				適正規模			
	総学級数	1～5	6～11	12～18	19～24	25～30	31以上
9年度	ピーク時 143学級		吉田東小(6) 吉田西小(6) 国分寺西小(6) 細谷小(6) 石橋北小(7) 古山小(11)	薬師寺小(12) 国分寺東小(12) 国分寺小(17) 祇園小(18)	緑小(20) 石橋小(22)		
25年度	現状 129学級	細谷小(4) 国分寺西小(5)	吉田東小(6) 吉田西小(6) 石橋北小(7) 薬師寺小(11) 緑小(11)	国分寺東小(12) 古山小(16) 祇園小(16) 石橋小(17) 国分寺小(18)			
31年度	推計 117学級	細谷小(4) 国分寺西小(4)	吉田東小(6) 吉田西小(6) 石橋北小(8) 薬師寺小(10) 緑小(10) 国分寺東小(11)	祇園小(14) 古山小(13) 石橋小(14) 国分寺小(18)			